２０１８年度

# 活動報告及び決算報告書

JLMM

一般社団法人　日本カトリック信徒宣教者会

# 2018 年度 日本カトリック信徒宣教者会 活動報告

## 1．2018 年度の動きと成果（概要）

### 派遣地における活動

カンボジアのプノンペン市では、子ども達のための識字・栄養教育、母親たちのための栄養・保健・住環境セミナー、収入創出プログラム、託児所の運営などの活動を継続実施した。

コミュニティヘルスワーカーの意欲向上と収入創出のために、昨年度着手したコーヒードリップパックの生産と現地での販売が順調であった。また2019年2月の増築が完了した新託児所において、乳幼児の受け入れを拡大させた。2017 年度に派遣されカンボジア語の研修を終了した洞江有実子が、主に託児所における活動を開始した。

スタッフの能力向上のために、NGO が主催するセミナーに2回参加し、そこでの学びを他のローカルスタッフにも共有した。

プノンペン市ステンミエンチャイ地区での活動が20年を迎えるにあたり、JLMM カンボジアのプノンペン派遣者、現地スタッフ、東京事務局スタッフが集い、これまでの活動の歩みを振り返り、現状分析し、意見を交えて今後の中長期計画について検討した。

コンポンルアン水上村ではバッタンバン教区とともに保健衛生、栄養改善、識字教育、浄水プログラムなどを継続した。

また、前述のプノンペンでの中長期計画策定ミーティング後、プノンペン教区プノンペントゥマイリトリートセンターにて全派遣者と事務局スタッフによる第 4 回レイミッショナリー会議を開催した。

東ティモールでは1999年より継続してきた派遣が2019年3月末に終了し、最後の派遣者の深堀夢衣が4月３日に帰国した。

### 派遣候補者募集と研修、派遣

JLMM 派遣候補者の山口憲次郎、JOCS（日本キリスト教海外医療協力会）から養成依頼のあった雨宮春子の2名が6か月間の研修を受けた。

本年度より喜多見の新研修所にて研修を開始した。

また、今回初の試みとして一部の講義を一般公開とし、多くの方々とともに学べる機会を提供した。

雨宮は JOCS からタンザニアに派遣されたが、山口は派遣を希望しなかったため、JLMM からの派遣はなかった。11月14日に関係者のみで研修修了式を行った。

### スタディツアー（継続と新規企画）

恒例の上智福岡高等学校スタディツアー、一般公募のスタディツアー（夏期と春期の2回）、大阪教区青年カンボジアスタディツアーに加え、昨年度実施できなかった専修大学国際協力サークル SIA のスタディツアーを再開した。また、新規でショファイユの幼きイエズス修道会の依頼を受け、同修道会シスターの現地活動視察ツアーを実施した。今年度からすべてのスタディツアーの企画を旅行会社との連携により実施し、募集や手配、安全面における充実を図った。

### 活動紹介とラチャナ商品紹介（教会に向けた広報の拡充）

JLMM の活動広報の拡充のため、昨年に引き続き各地のカトリック教会における「活動紹介とラチャナ商品紹介」を企画・実施した。ミサ後に短い活動紹介とハンディクラフトの紹介を組み合わせて実施することにより、多くの方々に関心を持っていただくことができた。札幌、東京、大阪の3教区で実施した。

### 団体名称の検討

「日本カトリック信徒宣教者会」という名称を「JLMM」と改称し、通称「日本カトリックミッショナリームーブメント」とすることについて、当会創立者との相談を継続し、OBOG 会においてヒアリング、カトリック中央協議会法人事務室との打ち合わせを行った。

### カリタスジャパンとの連携（災害発生時の支援システム構築協力）

カリタスジャパンから要請を受け、今後起こりうる大災害発災時にカトリック教会が被災者支援システムを迅速に構築できるよう、支援マニュアル作成のための編集作業に協力した。

### 連携・協力関係の拡充

JOMAS（海外邦人宣教者活動援助後援会）委員会にて活動のプレゼンテーションを行い、3 年間の助成事業を申請し、助成が決定した。

### 顧問司教の交代

顧問司教の諏訪榮治郎司教が、任期満了となるのを契機にさいたま教区の山野内倫昭司教を後任として推薦するとのお申し出があった。これを受け理事会で検討した結果、ご推薦の山野内倫昭司教に後任をお願いすることになり、2019年度からの就任のご承諾をいただき、カトリック司教協議会の承認を受けた。

各国派遣状況及び会員数は以下のとおりである。

2019年3月31日現在の派遣国と派遣者
カンボジア…3名
計　1ヶ国　3名
2019年3月31日現在の正会員数　10名（名簿は後述）
2019年3月31日現在の賛助会員数　2，494（個人・団体）
内訳
個人…　1，216、教会…　337、修道会…　606、学校…　189、その他…　146

成果

東ティモール派遣が終了し、派遣地域が縮小傾向にある中、カンボジア・プノンペンにおけるプロジェクトの中長期計画策定やレイミッショナリー会議の開催など、カンボジアのプロジェクトに集中した支援を行うことができた。中長期計画策定では、派遣者、ローカルスタッフ、事務局スタッフが全員参加し、課題と将来のビジョンについて共有することができた。

スタディツアーが活発であり、今後もニーズがあると思われる。ラチャナ販売と合わせ、JLMM のミッションの場が少しずつであるが広がっている。

課題

研修を行ったが派遣がなかったのは残念であった。近年、派遣者候補者の確保が厳しくなってきており、派遣のあり方や研修の方法や内容も再検討すべきである。

また恒常的な資金獲得の方策を検討し実行する必要がある。

## 2．各国活動

(1) カンボジア

1992年4月より内戦後の復興に取り組むカンボジア人、帰還難民の支援をきっかけに信徒宣教者の派遣が開始された。バッタンバン省にて児童養護施設におけるソーシャルワーク支援、洋裁技術支援・ハンディクラフト製作による女性の自立支援、スヴァイリエン省にて試験農場、コンポンスプー省では幼稚園支援など、カンボジア現地 NGO を通してのコミュニティ開発支援を行ってきた。

1996年6月14日カンボジア政府に JLMM カンボジアとして国際NGO登録を行った。

1998年1月から、カリタス・カンボジアとの協働によりプノンペン市郊外のステンミエンチャイ地区ごみ集積場周辺に暮らす人々のための生活向上支援、2001年12月よりバッタンバン知牧区内プルサート省コンポンルアンの水上村における住民との関わりを開始した。

また、2007年6月より、シェムリアップ州クナ・トゥメイにおいてカトリック教会が地域の子ども達に向け行っている子どもセンターの識字教室などの活動支援を開始した。

さらに、2008年7月より、バンテイメエンチャイ州タオム村でカトリック教会が地域の子ども達に向け行っている子どもセンターの識字教室などの活動支援を開始。その後、シェムリアップ教会の会計管理等の活動支援も開始。

2002年度より浅野美幸（横浜教区）、2013年度に井手司（福岡教区）、2017年度に洞江有実子（仙台教区）を派遣した。

プノンペン市郊外のステンミエンチャイ地区ゴミ集積場周辺に暮らす人々のための生活向上支援を浅野と洞江が担当し、トンレサップ湖上の村コンポンルアンの活動を井手が担当した。

### Ⅰ プノンペン市ステンミエンチャイ地区ゴミ集積場周辺に暮らす家族のための生活向上支援

#### 1．対象地域と地域概要

プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村

ルッセイ村には、ゴミ集積場でゴミの中からリサイクルが可能な有価物を拾い集め、リサイクル業者に売り、生計を立てている家族が多く住んでいる。住民の多くは、以前地方で農業を営んでいた人たちだが、グローバリゼーションの影響などにより、家族を養うための十分な食料や生活物資を購入するための現金を得ることが出来ずに都会に出てきた人たちである。

村では、生活環境不良のため栄養不良や皮膚疾患が多くみられる。また、高利貸しへの借金返済にも苦しんでいる。子どもは家族を助ける労働力とみなされ、親は子どもの教育にあまり熱心ではない。子ども達も家族を助けたい思いからゴミ集積場で働いている。子ども達は、小学校に入学できても、基礎的生活習慣や能力不足により落第や退学する子どもが多くいるのが現状である。

2009年7月にステンミエンチャイのゴミ集積場は、ゴミの収容範囲を超えたため閉鎖され、プノンペン市の全てのゴミはダンコー地区にできた新ゴミ集積場に集め捨てられている。住民たちは以前から住んでいるルッセイ村に留まり、そこから毎日ルモー（バイクで牽引する乗り合いの搬送車）で新ゴミ集積所へ通勤している。住民たちの移動がないため、JLMM ではステンミエンチャイ・ゴミ集積場の閉鎖後も、活動を継続している。

2018年度は、次のとおり事業を実施した。事業実施に関する活動資金の一部は、大阪大司教区「カンボ

ジアの日」、ドイツ「Die Sternsinger」、NPO法人「芝の会」（創設者、故粕谷甲一神父）、海外邦人宣教者活動援助後援会（JOMAS）からの支援を受けた。

**2. 活動**

1）「子どもの家」活動

貧困や家庭の事情で小学校に通学できない子どもや落第、退学が多い対象地域での就学前の子ども達への幼児教育、衛生教育、識字教育を実施した。基礎的社会能力や知的能力を向上させる体験の場を月曜日から金曜日の午前中、能力別に分かれた3クラスで週5日8時半から11時まで運営した。また今まで屋外の教室で授業を実施していたが、2月より新託児所に教室を移し授業をする。

生徒数は常時70～90名。2018年度は25名の子ども達が小学校に入学した。

a)「大きな子どもの家」

対象年齢：クメール語子音の読み書き、1から10の数字が分かる6歳から12歳の児童20人。

衛生教育、クメール文字の読み書き、足し算や引き算、工作、ぬり絵、お絵かきなどを学ぶ。

b)「小さな子どもの家」

対象年齢：クメール語子音の読み書きができない児童30人。

衛生教育、識字教育、工作、塗り絵、お絵かき、歌などを学ぶ

c)「小さな小さな子どもの家」

対象年齢：3歳から5歳の幼児30人。

パズルやお絵かき工作など遊びが中心

小さな小さな家の子どもたち

小さな家の子どもたち

① スタッフと先生やアシスタントとの定期ミーティング

「子どもの家」が小学校入学への架け橋として、充実した教育を実施できるよう、スタッフと先生やアシスタントと毎月末に定期的なミーティングを行った。

成果

先生が抱えている問題を分かち合うことによって、アシスタントとスタッフが協力しあうようになった。

課題

限られた時間なので予定や課題の周知が中心となった。子ども達の情操を豊かに育むための教材作りと

指導力の向上を目指していきたい。

② 家庭訪問

教育の大切さを保護者に理解してもらうため、7歳以上で小学校に入学していない子どもの家庭を訪問し、小学校進学の重要性を伝えた。また、小学校入学の手続きの周知を図った。

成果

家庭訪問をすることによって子どもが小学校に入学することができた。

課題

家庭の事情で子どもを学校に行かせたがらない親もいる。「子どもの家」が人生最後の教育機関になってしまう子どもがいるので、読み書きや足し算ができるように指導していきたい。

遠足

クメール正月パーテイ

③ 栄養プログラム

栄養失調や発育不全の子どもたちの栄養改善を行うため、海外邦人宣教者活動援助後援会(JOMAS)の助成により、肉・魚・卵・野菜など栄養バランスを大切にしながら栄養価の高い食事を子どもたちに提供した。また子どもたちの栄養補給として手作りの豆乳を学びにきた子どもたち全員に毎日配布した。野菜が嫌いな子ども達のために、授業でも野菜の身体における働きや食の大切さを子どもたちに指導した。

成果

授業で子どもたちに野菜を食べることの大切さを指導するとともに、野菜を小さく切ったり、子どもたちの好きな味付けにするなど調理方法を工夫したため、今まで野菜を残していた子どもが食べるようになってきている。

課題

家庭では、肉や卵を毎日摂ることができない子どもが多い。

④ 図書館の利用

図書館の部屋を使いやすいように整備し、授業のカリキュラムに図書館での読書の時間を設けた。

成果

たくさんの本を手に取れるような環境を作ったため、子どもたちの本に接する時間が増えた。

また、使いやすいよう部屋を整備したことで以前よりも読書後に本を片づける子どもが増えた。

課題

本を玩具変わりに遊んでしまう子どももいるので、本の読み聞かせの時間も増やしていきたい。綺麗に図書館を利用できるよう定期的に本の整理をしていきたい。

図書館で読書

友だちと本の読み聞かせ

2） 医療サービスと家庭訪問

2018年度は57件の緊急援助を行った。

親が病気や怪我で就労できない家庭にお米や卵などの支給（12件）、病院までの交通費（10件）、治療費や薬代等（26件）、バイク修理（5件）、家屋修理補助（2件）、制服支援（(1 件）、葬儀代（1件）を行った。

家庭には医薬品が無いため、怪我をした住民に対して、傷の悪化を予防する簡単な傷の手当てをし、あわせて手当ての方法を指導した。

成果

緊急時に食料や治療費を援助することができ、住民たちは高利貸しからお金を借りず高い利子の返済に苦しまずに済んだ。

課題

カンボジアは医療保険がないため、病気になったら高額な医療費を払わなければならない。衛生的な生活をおくることで病気を予防できるので、住民たちの保健衛生の意識向上に努めていきたい。

屋根修理補助

病人支援

3） 屋台プロジェクト

屋台の仕事で安定的な現金収入を得て、家庭内の医療や子どもの教育を充実させるために、今年度も屋台プロジェクトを継続した。

① ロッティ

ゴミ集積場での有価物収拾で生計を立てている人たちに屋台の貸し出しを行う「屋台プロジェクト」を継続し、クレープ菓子「ロッティ」の販売を行った。プノンペン市内や学校周辺などで販売。研修を受けた販売員に屋台を貸し出すほか、出店道、屋台の修理等の支援も行った。

2019年3月末現在 3 名が屋台プロジェクトに参加し、生計を立てている。うち2名は自身の収益からバイクを購入し屋台を牽引し「ロッティ」を販売している。

成果

「ロッティ」の知名度が上がり、今まで売れ行きのよくなかった暑い時期や学校が休みの日も売れるようになり、収入を増やすことができた。

課題

屋台の仕事は、収入を増やすために子どもたちの登下校スケジュールにあわせ販売場所を移動しなければならない。体力が落ち年齢的に屋台の仕事が難しくなってきている人がいる。

② ハッピーアイス

秋田県で「ババヘラアイス」販売を行う進藤冷菓の技術指導を得て、カンボジアの原材料を使ったアイスの製造・販売を2013年2月に開始し、今年度も継続した。研修を受けた販売員に屋台を貸し出すほか、アイスを低価格で卸し、出店道具、自転車、屋台の修理等の支援も行った。

販売場所を拡大し、より多くの就労者を増やすため、移動用トラックを導入し、販売員をプノンペンに送迎した。2018年3月末現在6名が小学校前などで「ハッピーアイス」を販売している。

ハッピーアイス

ロッティ

成果

ゴミ集積場で働いていた母親たちにアイス販売の仕事を提供することができ、借金を返済することができた。

課題

アイスが早く完売できてもアイストラックが迎えに来ないと帰ることができない。早く仕事が終わった販売員たちのためにアイストラックの送迎回数を増やすことを検討していきたい。

4） プノンペン市郊外・貧困地域における女性の生活向上プログラム

ドイツ「Die Sternsinger」の助成を受け、地域の母親を対象とした包括プログラムを今年度も継続した。家庭を守る母親が「保健衛生」、「栄養」に関して知識を深め、実践することにより、家庭から地域全体の生活向上を図ることを目的としている。

① 母親ミーティング

対象となる地域の母親を集め、プログラムの実施経緯や内容説明を行うとともに、母親が抱える問題や課題などを話し合うミーティングを行った。

| 日付 | 参加数 | 内容 |
|---|---|---|
| 9月7日 | 109人 | *教育の大切さ、小学校への入学手続きの仕方について<br>*新託児所について<br>*デング熱について<br>*貯金の大切さ、お金を借りるときの注意点について（サタバナ銀行員） |
| 3月22日 | 55人 | *新託児所について<br>*歯の大切さについて （Mini Molars NGO）<br>－ 歯磨き指導 |

母親ミーティング

母親ミーティング

成果

貯金の大切さについて具体例を提示しながら解りやすく説明してくれたため、多くの人たちが貯金の大切さを理解することができた。

課題

貯金の大切さについて知識を得た母親たちが、家庭で実践できるように導いていきたい。

② お母さんセミナー

母親を対象とした家庭の生活環境改善に必要な「保健衛生」・「栄養改善」のセミナーを継続し下記の内容で実施した。文字の読めない母親にも分かりやすい教材を用意。スタッフ3名でお母さんセミナーを実施した。今年度はセミナー担当スタッフ1人が10月で辞職したため、また新たに開設する託児所の準備や教材作のためセミナー数を削減した。

また、セミナーを実施するために必要な人材の育成、及び研修に参加した。

(1) 栄養改善セミナー

昨年度は18名の CHW(コミュニテイヘルスワーカー)が現地スタッフの事前指導のもと、栄養改善セミナーを実施したが、文字の読み書きができない CHW は、セミナーの準備をするのが難しく継続が困難なため、6月にテストとインタビューを実施し、文字の読み書きのできる6名体制に変更した。また、今年度は教材をCHWに配布し、家でも練習できるようにした。

| 回数 | 日付 | 対象地区 | 参加人数 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 6月 | グループ1<br>グループ2<br>グループ3 | CHW18人<br>CHW18人<br>CHW18人 | CHWへのインタビュー・テスト |
| 第 2 回 | 7月 | グループ1<br>グループ2<br>グループ3 | 33人<br>54人<br>37人 | 「3食品群の食品と働き」 |
| 第 3 回 | 8月・9月 | グループ1 | 37人 | 「バランスの良い食事」 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | グループ2<br>グループ3 | 37人<br>57人 | |
| 第４回 | 12月 | グループ1<br>グループ2<br>グループ3 | 41人<br>36人<br>52人 | 「朝食の大切さ」 |

栄養改善セミナー

栄養改善セミナー

(3) 保健衛生セミナー

住民たちの住居前で少人数のグループを対象に10分から15分の保健衛生セミナーを実施した。住民たちが住んでいる住居に出向くことによって、家事や育児に忙しい母親たちが参加することができた。

| 回数 | 日付 | 対象地区 | 参加人数 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 6月<br>7月<br>8月 | グループ1<br>グループ2<br>グループ3 | 44人<br>92人<br>41人 | 回虫 |
| 第2回 | 9月<br>10月<br>11月 | グループ3<br>グループ1<br>グループ2 | 53人<br>35人<br>72人 | デング熱 |
| 第3回 | 12月 | グループ２ | 35人 | 家族計画 |

成果

家庭での衛生環境に対する意識や家族の健康に対する意識が向上した母親たちは、野菜を多く摂取するようになったり、部屋の掃除習慣が身につくなど行動変容がみられた。

課題

多くの知識を得た母親たちが、学んだことをさらに家庭で実践できるように、フォローアップしていきたい。

保健衛生セミナー

保健衛生セミナー

(5) 人材の育成・研修

セミナー実施に必要な人材の育成のために、スタッフたちが次の研修に参加した。

| 日付 | 団体 | 内容 |
|---|---|---|
| 4月25日～27日 | NPO 法人 SUSU（かものはしプロジェクト） | ライルスキルトレーニング<br>「聞く技術」、「モニタリング」 |
| 5月23日～25日 | NPO 法人 SUSU（かものはしプロジェクト） | ライルスキルトレーニング<br>復習、実践練習 |

また上記研修に参加したスタッフ2名が学んだことを分かち合うために、他のJLMMスタッフ9名に下記の内容でワークショップを週に1回1時間実施した。

| 日付 | 内　容 |
|---|---|
| 6月 | 問題解決 |
| 7月 | よいファシリテーターになるために |
| 8月 | 自己管理力-怒り |
| 9月 | グループ作業 |
| 10月 | 職業論理-品質管理 |
| 11月 | 聞く技術とモニタリング |

ライフスキルトレーニング

ワークショップ

（9） コミュニティヘルスワーカー（CHW）のインセンティブ開発

CHW の活動を継続させるための、コーヒードリップパックをプノンペンのイオンやシェムリアップのお土産屋で継続して販売した。

成果

生徒が描いた母親の絵のパッケージが可愛い、またコーヒーが飲みやすく美味しいと観光客に好評である。

課題

販売場所を拡大していくとともに、品質管理を徹底していきたい。

③ 託児所

「母親センター」の2階、及び2月に新たに開設した新託児所を使い、3歳～5歳児60名、2歳児15名を朝6時30分から18時30分まで受け入れた。子どもたちは、午前中は「子どもの家」で学び、給食後、「母親センター」「新託児所」において昼寝、水浴び、給食、授業、おやつ、遊びをして1日を過ごす。

授業では、基本的なクメール語の読み、歌、絵本の読み聞かせや塗り絵・パズルなど遊びをとりいれた時間を子ども達に提供した。先生2名、アシスタント6名が交代で指導を行った。また新たに建設した運動場での遊具を使った遊びの時間を授業のカリキュラムの中に取り入れた。

成果

子どもを預かることで母親が安心して働きにいけるようになった。また子どもたちは石鹸を使った手洗いや歯磨などの衛生的な生活習慣を身につけた。

課題

子どもたちの情操を豊かにしていくための教材作りと指導の技術・質の向上を目指していきたい。

2歳児クラス

遊具での遊びの時間

4） その他

a) 月1回開催される「レイミッショナリーの集い」に出席

b) カトリックNGO会議に出席

c） カンボジアで活動する修道会、カトリックNGOとの連携

d） プノンペン教区主催の行事、ミサに出席

e） 公立小学校、教育省、NGOなど地域機関との連携

f) 「子どもの家」クメール正月ゲーム大会(4/11)、「子どもの家」プチュンバン祭(10/5)、「子どもの家」クリスマス会（12/24）実施

g) 「子どもの家」にて子どもたちの健康診断実施（Edgewood College Henry Predolin School of Nursing and American Family Childrens Hospital、1/3）

h)「子どもの家」の子どもたちとプノンペン市内の公園に遠足(6/28)

i) ドイツ「Die Sternsinger」助成金申請、及び子どもの家、託児所、母親セミナーにおける運用と決算報告（7 月、1 月）

j) 大阪教区への助成金申請、及び運用と決算報告（4月）

k) 今井基金への助成金申請(11月）

m) カンボジア外務省、教育省への月間活動報告、決算報告（4月、7月、10月、1月）

n) 教育省からの活動合意書取得のための書類作成（11月）

g) 外務省への助成金報告書作成（2 月）

o) JLMM カンボジアスタッフ定期ミーティング

p) 35組のべ257名のステンミエンチャイ訪問・見学の受け入れ

## Ⅱ プルサート州コンポンルアン水上村　生活向上支援

### 1. 対象地域と地域概要

プルサート州コンポンルアン水上村

水上村コンポンルアンは、カンボジアのほぼ中央にあるトンレサップ湖上に位置している。この村では1，100世帯、5，000人の人々が船の家で生活しており、約60％がベトナム人である。住民は主に漁業で生計を立てているが、貧困世帯が多く生活全般に様々な問題を抱えている。住民は生活用水として湖の水をそのまま利用しているが、生活廃水や家畜の排泄物、ゴミなども全て湖に廃棄しているため、水質汚染は著しく健康に及ぼす影響も大きい。また、多くのベトナム人はカンボジア語が話せず、国籍を持たないといった理由で公共機関へアクセスすることができず、カンボジア社会から孤立した状態になっている。医療機関へかかることができないために簡単な病気でも死に至るケースが多い。子どもは言葉の問題から公立の学校へ通えないなどの多くの問題を抱えている。

2001年から JLMM カンボジアと住民の協力のもと、水上教室を設置し、識字教育、住民によって組織された基本的な保健サービスの管理、運営を行ってきた。

### 2. 活動

1） 保健衛生プログラム

① 水浴びプログラム

週1回の水浴びプログラムを継続実施した。湿疹用石鹸、虱用石鹸を使用し家でも使えるように一つ500リエル（約10円）で販売した。衛生指導や栄養指導も合わせて行い、健康状態の把握、爪切り、耳掃除、薬の塗布などのケアも継続的に行った。水浴びプログラムに参加する子ども達は平均して1回に10人程度である。

成果

水浴びプログラムに通ってくる子ども達の湿疹や虱などの症状は、年々減少している。

識字教室の先生に加え、識字教室の卒業生もこの活動を手伝ってくれるようになっており、協力の輪が広がっている。また定期的に歯磨き指導、手洗い指導等も実施している。

課題

学校に通う子ども達の年齢層が上がり、10 歳以上の子ども達、特に女の子への水浴びを行う事が出来ない。そのため、小さな子ども達への水浴びの手伝いや、虱取り等を行っている。また12月から2月にかけては、日中も寒くて水浴びを行う事が出来なかった。水浴びが出来ない時は、歯磨き指導や手洗い指導を強化していきたい。

水浴びの様子

歯磨き指導の様子

② 病人支援プログラム

病院受診のための交通費支援、病院や病人受け入れ施設までの付き添い、軽症のケースに対しての健康相談や、健康管理などの教育・指導、食費の支援などを行った。交通費支援、病人訪問などに関しては、水上村教会の病人支援グループと協働している。またスペインやシンガポールからの医師による村人への無料診断を行う事により、普段病院に行けない村人への診察を行う事が出来た。

関わった病人は、糖尿病、百日咳、胃の検査・成長痛による膝の痛み、心臓病、喘息、足の怪我、下痢、気管支炎など様々であった。病人支援は56名、58件ケースであった。

成果

支援をすることで安心して病院に行ってもらうことができた。水上村の住人にどのような病気が多いか把握することが出来た。

課題

利用者が教会関係者に偏ってきているので、村の住人も利用できるように教会が地域一般の方々を対象に病人支援をしている事を地域に広くアピールするとともに、協力者も募っていきたい。

スペイン人医師による無料診断

スペイン人医師による無料診断

③ ホームケアプログラム

主に病人支援で関わった病人（退院した病人など）の家庭を訪問し、在宅での簡単なケアや処置、栄養剤の支援を実施。また本人や家族に対し健康指導や栄養指導、相談活動なども合わせて行った。

成果

病院に行く時だけの支援ではなく、家庭での継続的な支援が可能となった。

病気が完治し利用者の元気な姿を見ることが出来た。また、コンポンルアン水上村クリニックの医師と連携して、村人への支援を行う事が出来た。

課題

日々移動を繰り返す水上村では病人の家の位置を把握することが難しく、訪問できないこともあった。今後は病人との関係を密にし、訪問を続けられるようにしたい。

水上村クリニックの医師の皆さん

家庭訪問

2） 母子保健に関する活動

月に1回午前9時から11時までの2時間、妊婦や乳幼児へのケア（コンポンルアン保健センターで受けられるサービスと同様のサービス）のため、同センターの産婦人科医に依頼し予防接種及び妊婦への教育ワークショップを行った。母乳不足の場合は粉ミルクを支援。

また、患者がクリニックを訪れやすくするために、カンボジア語からベトナム語への通訳者を雇用した。より多くの人々に利用してもらうため、予防接種及び妊婦への教育ワークショップ実施前に村全体で告知を行った。

成果

クメール語（カンボジア語）に不安を抱くベトナム人住民も安心して予防接種を受けることが出来た。

教育ワークショップによって妊娠期間、出産に対する不安を軽減することが出来た。

妊婦同士、お母さん同士のコミュニケーションの場を提供することが出来た。

課題

教会の位置が村の外れに位置している時は、教会から遠くに住む村人が、教会に診察に来ることが難しくなっている。

母子保健プログラム　ワークショップ

予防接種を受ける乳児

3）　識字教育プログラム

教会が運営する識字教室「マリアーノ学校」では、ベトナム人の子ども達にカンボジア語とベトナム語の勉強を無料で教えている。JLMM カンボジアは、その学校のカリキュラム準備、教材の支援などを行った。
2019年3月末日現在、カンボジア人先生2名、ベトナム人先生1名の計3名がカンボジア語の授業を行っている。

授業は午前カンボジア語が2クラス。また午後ベトナム人の先生1名がベトナム語の授業を行った。通学する生徒数は1年平均して午前40名、午後40名程度である。2005年から継続している通学船による子どもの送迎も実施した。先生とスタッフを含めたミーティングを行い、行事の打ち合わせやカリキュラムの準備や指導力の向上に努めた。今年度も年中行事（卒業旅行、クリスマス会等）を先生、生徒と共に準備し、行うことが出来た。

成果

ベトナムへ移住している家族が多いため、学校へ通って来る子ども達の数は減少している。しかし先生達が子ども達の家庭環境の把握や、子ども達との交流が出来ている為、学校へ通う子ども達の出席率は良くなっている。

課題

子どもの数は、減ってきているが、子どもの年齢、習熟度に大きな開きがあるため、一つのクラスの中で、幾つかのカリキュラムの準備が必要である。

クメール語教室の様子

ベトナム語教室の様子

4） 栄養改善プログラム

2005年2月より始まった栄養改善プログラムを今年度も継続して実施。週一回の水浴びプログラムの前、栄養価の高い食事（お粥、豆乳、バナナの甘味）を提供し合わせて栄養指導を行った。参加人数は1回平均40い名であった。

成果

栄養価の高い食事を提供できたとともに、子ども達にとって週に一度の楽しみを提供することができた。

課題

栄養指導に関しては識字教室の先生に一任していたが、結果、内容が単調になってしまった。説明しやすいように何種類か教材を用意するなどしていきたい。

栄養価の高い　お粥

美味しく食べる子ども達

5） 奨学金支援（里親制度）

2018年度は日本の里親の方からの支援により大学生1名の里子が奨学金を受けた。里子の大学生はバッタンバン市内のバッタンバン教区が運営する寮で生活しながら学校へ通っている

成果

里子とは、継続的に訪問、連絡を取り合うことで、状況を把握することができている。

課題

ソパール神父の運営する学生寮は、新入生の募集を中止している。里子は今年大学卒業予定で、卒業後は奨学金の支援が終了するため、コンポンルアン水上村での奨学金支援を今後どのように行うのか同神父とも協議していきたい。

6） 公立小学校との連携

マリアーノ学校の卒業生が小学校に入学した後も、勉学を順調に続けることができるように、公立小学校との連携を図った。通学船による子どもたちの公立小学校への送迎は2012年5月まで実施していたが、通学船の運転手が確保できないため、保留となっている。子ども達は親から交通費をもらい、一般の交通船に乗って小学校に通学している。

成果

通学船がなくても家族の出費により子ども達の数人は通学することができた。

課題

マリアーノ学校の卒業生が公立小学校の授業についていけず、中途退学する生徒がいるので、マリアーノ学校卒業生へのフォローが必要である。

7） 浄水プロジェクト

2007年4月より湖の水を浄化して住民に安価で販売するプロジェクトを実施。2010年度から運営管理を現地教会に委託した。JLMM カンボジアは、その運営に協力している。

成果

安価で安全な浄水を提供する事によって水上村の住民の衛生状態が向上した。

課題

年々村人による需要が増え、乾季には供給が追いつかないほどになっている。供給量増加に向けた取り組みが必要である。また、浄水装置が設置され10年が経過したため、修理の必要な場所が増えてきている。教会のメンバーとも話し合い、浄水装置を維持できるようにしていきたい。

浄水装置

村人が水を買いにくる様子

8） 青年活動

教会の青年たちが組織する青年会の活動に協力した。具体的な活動は、ミサ奉仕、子ども達の歌の練習、病人訪問、お葬式への参加など。その活動にかかる費用の一部を支援した。

成果

青年活動だけではなく、クリスマスや復活祭など教会や JLMM が行う諸行事にも協力が得られた。またイエズス会のブラザーが子ども達へ要理教育を行い、子ども達のミサへの積極的な参加に繋がった。また、プルサート教会から韓国人のシスターが来られて、聖歌の指導を行ってくれている。

課題

イエズス会のブラザーが他の地域へ異動した為、ベトナム人向けの要理教育が終了してしまった。

ミサ前の歌の練習

要理教育

9） その他

a）カンボジアで活動する修道会、カトリック NGO との連携

b）「カンボジア福祉基金藤沢」の運用

c）水上公園の管理

d）コンポンルアン教会担当司祭及び教会リーダーグループとの定期ミーティング

e）公立小学校、教育省、警察、漁業局などをはじめとする地域機関との連携

f）日本や他の外国からなどの訪問者の受け入れ(29 組のべ 204 名)

g）各教会・個人へ向けた毎月の活動・会計報告

h）日本からの支援物資の配給

i）海外宣教者を支援する会へ支援申請（教会、学校改修）

j）シンガポールからの医師、医学生の受け入れ（12 月）

k）スペインからの医師の受け入れ（3 月）

l）スペイン人大学生による 4 日間のサマーキャンプの実施(8 月)

m）バッタンバン教区パストラルミーティングに参加（11 月）

n） JLMM カンボジアスタッフ定期的ミーティング

o）スタディツアーの受け入れ

## Ⅲ　その他（JLMMカンボジアとしての活動）

1）　スタディツアー・ボランティア・活動地見学

次の日程で JLMM 関連カンボジアスタディツアーの受け入れを行った。

2018年7月21日～7月29日　　上智福岡高等学校・スタディツアー

2018年8月7日　～8月14日　　JLMM 夏のカンボジアツアー

2018年8月20日～8月25日　　大阪教区青年カンボジアスタディツアー

2019年2月26日～3月5日　　専修大学 SIA サークルカンボジア・スタディーツアー

2019年3月26日～4月2日　　JLMM 春のカンボジアツアー

2）　日本の修道会との連帯

「ショファイユの幼きイエズス修道会カンボジア共同体」、及びオー村で活動をする漆原恭子さんと活動や事務に関するミーティングを実施。査証手続きをサポートした。

3）　ラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバンの支援

女性自立に向けた活動を行う現地 NGO「ラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバン」の商品をバザー用、オーダー受注、東京事務局への発送作業等を行った。

4）　東京事務局との連絡調整

2018年5月8日～13日　　STMの中長期計画策定

5）　黙想会・祈りの集い

2019年1月13日～15日　シェムリアップ Metta Karuna Centre において黙想会を実施した。

また、月に一度、祈りの集い及び活動報告を行った。

6）　一時帰国

一年間の活動を終え、次のとおり一時帰国した。

浅野美幸　　2018年9月10日～10月27日

7）　一時帰国報告会

一時帰国の時期に合わせ、各地で報告会を実施した。

（「11．報告会・説明会・講演」で後述）

浅野美幸

2018年9月22日　　海外邦人宣教者活動援助後援会（JOMAS）にて活動紹介

2018年9月30日　　カンボジアディにて活動報告（フランシスコ会聖ヨゼフ修道院東京）

2018年10月3日　　芝浦工業大学　生命倫理にて活動報告（大宮キャンパス）
2018年10月6日　　カトリック藤枝教会
2018年10月12日　上智大学神学部「宗教科教育法」にて活動報告
2018年10月14日　カトリック菊名教会
2018年10月19日　山口天使幼稚園保護者へ
2018年10月19日　防府暁の星幼稚園保護者へ
2018年10月19日　山口ザビエル教会の方々と山口天使幼稚園先生たちへ
2018年10月20日　カルメル会
2018年10月21日　山口ザビエル教会

8）その他
支援者・関係者へのクリスマスカード送付

## 3．調査・調整活動

### （1）カンボジア

JLMMカンボジアを訪ねステンミエンチャイ地区での活動支援、コンポンルアンでの活動の視察、調整をスタディツアー等も兼ねて行った。

| | | |
|---|---|---|
| 2018年　5月　7日～　5月13日 | 事務局 | ステンミエンチャイ活動中長期計画策定 |
| 2018年　8月　7日～　8月14日 | 漆原比呂志、辻明美 | ステンミエンチャイ活動支援 |
| 2018年　8月20日～　8月25日 | 漆原比呂志、辻明美 | ステンミエンチャイ活動支援 |

## 4．研修

2018年度は、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）の研修生1名を加え２名で研修を実施した。

山口憲次郎（長崎教区・浦上教会）、雨宮晴子（JOCS　派遣候補者）の研修を2018年5月14日から11月11日まで行った。

研修所は、今年度より礼拝会喜多見第2修道院内にて行った。

オリエンテーション　　2018年5月14日（月）～15日（火）
通常授業　　2018年5月16日（水）～11月6日（火）

研修内容は次のとおり。

| | 講師（敬称略） | 研修名 | |
|---|---|---|---|
| | 浜崎眞実神父（当会理事） | 聖書学 | 通年水曜日 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 漆原比呂志 | JLMM の生き方 | 通年火曜日 |
| | Sr.高橋睦子（幼きイエス会） | 神に親しむ | 通年水曜日 |
| | Sr. Lessie Gregory（フランシスカン・チャペルセンター勤務） | 英語 | 通年火曜日 |
| | Sr.小野恭世（イエズス孝女会） | 共同体作り | 月1回木曜日 |
| | 大森志帆 | 教会史 | 通年月曜日 |
| | 本田　まり | 生命倫理 | 前期1回、後期1回 |
| | 事務局 | ワークショップ | 前期1回 |
| | 西原　廉太（立教大学文学部教授） | 聖公会を学ぶ | 全3回 |
| | 鈴木　隆 | 信徒の召命 | 前期1回、後期1回 |
| | 阿部仲麻呂 | 第2ヴァチカン公会議<br>使徒信条<br>主の祈り | 6月21日・22日<br>7月5日・6日<br>9月6日・7日 |
| | 井手司 | 一時帰国者の話 | 6月4日 |
| | 石丸　奈加子 | JLMM OG の話 | 6月8日 |
| | 今井　慶 | JLMM OB の話 | 7月13日 |
| | 坂口　聖子 | 宮古島の現状 | 10月11日 |
| | 森田　隆 | JLMM OB の話 | 10月11日 |
| | 町田春海 | JLMM OG の話 | 10月18日 |

また、研修所等における学習だけではなく、長期海外研修など体験を交えた研修を行った。
体験学習は次のとおり

| | 期間 | 研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| | 2018年5月31日 | 荒川体験 | 江戸時代の浅草・吉原、明治・大正時代の荒川・三河島、昭和・平成時代の山谷を通して、差別と貧困について考える。 |
| | 2018年6月11日から<br>6月15日 | 川崎体験 | 労働問題、滞日在日外国人が抱える問題等について、神奈川シティユニオンやふれあい館等において学ぶ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 2018年7月2日 | 大塚モスク | イスラム教を学ぶ。大塚モスクを訪ね、イスラム教信徒からイスラム教の歴史、文化を学び、他宗教への理解を深める。 |
| | 2018年7月23日から<br>8月21日 | 長期海外研修 | カンボジアに赴き、派遣者の活動地であるステンミエンチャイ地区、コンポンルアン水上村にてインターン研修を行い、派遣についての識別と準備期間とする。<br>エバリュエーション:9月4日(四ツ谷)<br>報告会:9月22日(六本木) |
| | 2018年9月22日 | 長期海外研修報告会 | 長期海外研修の報告を行う |
| | 2018年9月10日から<br>9月16日 | かなの家 | 「ラルシュ・かなの家」(静岡県)において、知的ハンディを持つ仲間と共に生活をしながら、作業やかかわりの中で「ともに生きる」ことの大切さを学ぶ |
| | 2018年10月12日 | 鎌倉諸宗教 | 鎌倉を訪ね神道仏教について、神社や寺院で宗教関係者から直接講義を受け、他宗教を学ぶ。 |
| | 2018年10月29日 | 光照院 | 台東区にある寺院を訪ね、仏教について住職から学ぶ。 |
| | 2018年11月1日から<br>11月4日 | ハンセン病施設研修 | 鹿児島<br>国立療養所　星塚敬愛園 |

こうした研修のほか、2回の黙想、週末の活動等を通じ、自分を見つめ、ミッショナリーとして派遣されるための見極め、また準備期間とした。

中間、最終黙想の期間、指導及び会場は以下のとおり

中間黙想　期間:2018年8月30日～9月1日
指導者:瀬戸高志神父(レデンプトール会)
会場:カルメル会黙想の家　(上野毛)

最終黙想　期間:2018年11月8日～10日
指導者:瀬戸高志神父(レデンプトール会)
会場:イエズス会無原罪聖母修道院(黙想の家)　(東京都練馬区上石神井)

また、将来派遣地において教会や他の NGO などと連携し活動する経験につなげることや、日本での人と

のネットワークを深め支援者を増やすことなどから、例年どおりアポストラートスを行った。受け入れ先及び研修生は次のとおりである。

横浜教区カトリック横須賀三笠（山口）

研修を修了したが、派遣はなくなったことから研修修了式を行った。

研修修了式　2018年11月14日　喜多見研修所

研修実施に際し、研修スタッフミーティングを行った。

2018年4月18日、8月29日、10月3日

研修所の清掃を行った。

2018年11月7日　研修所大掃除

派遣者に向けた研修は内容がよいとの評判から、一部公開とすることとし、阿部仲麻呂師の連続講座と坂口聖子師の講座を一般に公開した。

今年度は諸宗教の理解に力を入れ、イスラム教寺院、鎌倉の神社・寺、台東区の寺、聖公会の学びなどを行った。

## 5．派遣

今年度は派遣を行わなかった。

## 6．派遣候補者の募集と選考

2019年度派遣に向けた派遣候補者の募集を2018年8月1日より開始し、募集期間を延長し11月30日まで行った。

また、昨年度に引き続き応募者増と当会の活動の周知を行うため、派遣候補者募集説明会を実施した。JLMM の活動紹介並びに派遣候補者募集に関する説明や相談を行った。

選考には、1名の志願があったが、1名での研修は現状行えないことから選考を断念した。

派遣候補者募集説明会

日時：2018年9月22日（土）　15時30分

会場：フランシスコ会聖ヨゼフ修道院 1 階ホール（東京都港区六本木）

## 7．団体連携・協力

(1)特定非営利活動法人 AFMET の運営協力

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会は特定非営利活動法人 AFMET と名称を変更し、事務局を聖母訪問会内(鎌倉市)に移した。しかし新事務局での体制が整わないことから、事務局職員金山重之と漆原比呂志を派遣し運営に協力した。

| | |
|---|---|
| AFMET 理事会 | 2018年5月16日、7月4日、8月23日、10月24日、11月30日、2019年1月16日、2月21日 |
| AFMET 総会 | 2018年5月20日、2019年3月17日 |
| イベント | 2018年5月19日<br>東ティモールフェスタ2018(上智大学・四谷キャンパス)<br>2018年5月20日<br>講演会(カトリック厚木教会) |

(2)カトリック東京ボランティアセンター(CTVC)の運営協力

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援に向け、2011年4月24日に開設されたカトリック東京ボランティアセンター(CTVC)の活動を支援した。

(3)カリタスジャパンの活動への協力

2011 年の東日本大震災、2016 年の熊本地震に際してカリタスジャパンの被災地緊急支援に JLMM 事務局が協力してきた経緯から、今後日本各地で起こりうる大災害において迅速に支援体制を構築するためのサポートを行った。カリタスジャパンが発行予定の「災害対応マニュアル」の編集会議に参加した。

(4)学校連携・協力

アレセイヤ高等学校2年「総合学習の時間」の NGO 訪問で生徒グループが来所し、活動紹介を行い、NGO や国際協力に関する生徒からの質問に応えた。(2018年10月4日)

(5)NGO 連携・協力

JOMAS(海外邦人宣教者活動援助後援会)委員会にて活動のプレゼンテーションを行い、3年間の助成事業を申請し、助成が決定した。(2018年9月22日)

## 8. ゴスペル

派遣地での派遣者と現地の方々との「つながり」と同様、日本国内においても「つながり」をもち、連帯していくことを目指し、2007年度創立25周年記念式典に向け結成したゴスペルクワイアを再結成。継続して活動を行った。

指導に布施多真美さんを迎え、月2～3回程度の練習を通じ、自分達らしいゴスペルクワイアを目指した。

今年は4年ぶりに主催コンサートを実施し、JLMM のカンボジアでの活動を報告し、支援を募った。

練習会場:六本木フランシスカン・チャペルセンター聖堂ほか

練習日: 2018年 4/5、4/12、4/26、4/26、5/10、5/17、5/26、5/31、6/7、6/14、6/16、6/2

2、

6/28、7/5、7/19、9/6、9/20、10/4、10/18、11/1、11/15、11/29、12/20

2019年　1/17、1/24、2/7、2/21、3/7、3/14

**コンサート/出演**

1）ゴスペルチャリティーコンサート

日時：2018年6月30日

会場：フランシスカン・チャペルセンター（東京・六本木）

2）　被災地復興支援行事

日時：2018年12月8日

会場：福島県南相馬市原町区　カリタス南相馬餅つき大会

3）　被災地311追悼行事

日時：2019年3月11日

会場：宮城県亘理郡山元町

フランシスカンチャペルセンター

カリタス南相馬餅つき大会

## 9．海外ボランティア制度

キリスト教信徒ではない、もしくは短い期間でも派遣を希望する方に向け、2012年度から新たな試みとして、フェローズ制度を設置し試行的に実施した。

2013年度からは名称を「海外ボランティア制度」に改め参加者を募集したが、希望者がなかったため実施しなかった。

## 10．広報

**（1）ミッション（ニュースレター）発行　他**

ミッション№183～187の計5号を以下のとおり発行した。

| №. | 発行日 | 部数 | 内容 |
|---|---|---|---|
| №.183 | 2018年5月31日 | 3,000 部 | ・20185年度派遣候補者研修始まりました！<br>・「派遣を終えて」～東ティモール～（深堀夢衣）<br>・書き損じはがきご支援のお願い<br>・「毎日のミサ」用カバー大好評販売中！<br>・カンボジア・スタディツアー参加者募集！ |
| №.184 | 2018年7月31日 | 3,000 部 | ・カンボジアからの手紙（洞江有実子）<br>・JLMM ゴスペルチャリティーコンサート開催！<br>・カンボジアからの手紙（井手司）<br>・書き損じはがきご支援のお願い<br>・「毎日のミサ」用カバー大好評販売中！<br>・平和祈念募金ご協力のお願い |
| №.185 | 2018年10月15日 | 3,000 部 | ・カンボジアからの手紙（浅野美幸）<br>・カンボジアからの手紙（井手司）<br>・カンボジアからの手紙（洞江有実子）<br>・書き損じはがきご支援のお願い<br>・「毎日のミサ」用カバー大好評販売中！<br>・2019年度派遣候補者募集のお知らせ |
| №.186 | 2018年11月30日 | 3,000 部 | ・2018年度研修修了しました<br>・スタディツアー参加者からの声<br>・カンボジアからの手紙（洞江有実子）<br>・カンボジアからの手紙（井手司）<br>・「毎日のミサ」用カバー大好評販売中！<br>・クリスマス献金ご協力のお願い |
| №.187 | 2019年3月31日 | 3,000 部 | ・カンボジアからの手紙（浅野美幸）<br>・カンボジアからの手紙（洞江有実子）<br>・書き損じはがきご支援のお願い<br>・「毎日のミサ」用カバー大好評販売中！<br>・イースター募金のお願い |

**（2）広告掲載等**

カトリック新聞におおむね月1回、年20回広告を掲載した。

2018年

| | | |
|---|---|---|
| 4月15日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 4月29日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 5月20日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 6月10日 | 2段5cm | 夏のカンボジアスタディツアー |

| | | |
|---|---|---|
| 7月　1日 | 2段5cm | 夏のカンボジアスタディツアー |
| 7月15日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 8月19日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 9月　2日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 9月16日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 9月23日 | 3段1／2 | ともに生きる人　募集中！（世界難民移住移動者の日） |
| 9月30日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 10月21日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 10月28日 | 2段5cm | ともに生きる人　募集中！ |
| 11月18日 | 2段5cm | クリスマス募金 |
| 12月16日 | 2段5cm | クリスマス募金 |
| 2019年 | | |
| 1月20日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 1月27日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 2月17日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 3月17日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |
| 3月31日 | 2段5cm | JLMM の活動にご支援ください |

**（3）チラシ配布**

1）広報用リーフレット作成配布

JLMM 活動紹介リーフレット日本語版・英語版（カラー、A4版三つ折）を作製配布した。

作製部数　　600部　　2018年4月（2017年度英語版）

1，000部　2018年7月（2017年度日本語版）

2）シネマ・ミシオ広報チラシ作成配布

来年度事業であるシネマ・ミシオの広報用チラシ（カラー、A4版）を作成し配布した。

シネマ・ミシオ　　2，000部作成（2019年8月）

**（4）新聞・雑誌記事掲載**

きずな（日本カトリック海外宣教者を支援する会発行）

| | |
|---|---|
| №143（2018年6月1日） | 最後の東ティモール通信です！（深堀夢衣） |
| | 学校と浄水装置の改修工事（井手司） |
| №144（2018年9月1日） | 任期延長を決め心はすっきり（井手司） |
| №145（2018年12月1日） | 歯科検診と歯磨き指導（井手司） |
| №146（2019年3月1日） | 水上村の子供たちが減りました（井手司） |

## 11. 報告会・説明会・講演

活動報告会を次のとおり行った。（一部再掲）

また、本年度も小教区でのミサ後すぐの時間帯を利用し、短い時間で活動紹介とラチャナ（カンボジアハンディクラフト）の紹介を同時に行うミニ報告会を行った。

**カンボジア報告会**

| | | |
|---|---|---|
| 2018年 6月 2日 | 幼きイエス会 | 井手司 |
| 2018年 6月 3日 | 横浜教区カトリック藤沢教会 | 井手司 |
| 2018年 6月 4日 | イエスのカリタス修道女会本部 | 井手司 |
| 2018年 6月 7日～9日 | 仙台教区カトリック原町教会 | 井手司 |
| 2018年 6月10日 | 仙台教区カトリック亘理教会 | 井手司 |
| 2018年 6月23日 | 福岡教区カトリック久留米教会 | 井手司 |
| 2018年 6月23日 | イエズス会福岡修道会 | 井手司 |
| 2018年 6月28日 | 大分教区カトリック大分教会 | 井手司 |
| 2018年 6月30日 | フランシスカン・チャペルセンター聖堂 | 漆原比呂志 |
| 2018年 7月 1日 | 福岡教区カトリック行橋教会 | 井手司 |
| 2018年 7月 7日 | 福岡教区カトリック大名町教会 | 井手司 |
| 2018年10月 6日 | 横浜教区カトリック藤枝教会 | 浅野美幸 |
| 2018年10月 3日 | 芝浦工業大学 | 浅野美幸 |
| 2018年10月14日 | 横浜教区カトリック菊名教会 | 浅野美幸 |
| 2018年10月19日 | 天使幼稚園（山口県） | 浅野美幸 |
| 2018年10月19日 | 防府暁の星幼稚園 | 浅野美幸 |
| 2018年10月20日 | 愛徳カルメル修道会鳥取修道院 | 浅野美幸 |
| 2018年10月21日 | 広島教区カトリック山口教会 | 浅野美幸 |
| 2018年 9月22日 | JOMAS | 浅野美幸、漆原比呂志、辻明美 |

**JLMM活動紹介とラチャナ（カンボジアハンディクラフト）紹介**

| | | |
|---|---|---|
| 2018年 6月 3日 | 札幌教区カトリック苫小牧教会 | |
| 2018年 6月24日 | 東京教区カトリック目黒教会 | |
| 2018年 3月4日 | 横浜教区カトリック片瀬教会 | |
| 2018年11月25日 | 横浜教区カトリック由比ガ浜教会 | Bit主催 チャリティーコンサート |

**JLMM 活動紹介**

| | | |
|---|---|---|
| 2018年 6月2日 | 札幌教区全道青年の集い研修会 | 事務局 |
| 2018年 7月14日 | 真生会館学生センターWAKAGE | 漆原比呂志、辻明美 |

**派遣募集説明会（再掲）**

2018年　9月22日　　フランシスコ会聖ヨゼフ修道院　　事務局

**講演その他**

| | | |
|---|---|---|
| 2018年　6月7日 | 大船カトリック幼稚園 | 漆原比呂志 |
| 2018年　6月13日 | 芝浦工業大学生命倫理講義 | 漆原比呂志 |
| 2018年　7月12日 | 新潟県立看護大学 | 漆原比呂志 |
| 2018年10月3日 | 芝浦工業大学　生命倫理 | 浅野美幸 |
| 2018年10月15日 | 星美小学校 | 漆原比呂志 |
| 2018年10月31日 | 清心中学高等学校（倉敷） | 漆原比呂志 |
| 2018年12月　5日 | 星美短大人間学女性論講義 | 漆原比呂志 |
| 2018年10月12日 | 上智大学神学部「宗教科教育法」 | 浅野美幸 |

**事務局訪問**

2018年10月4日　　アルセイヤ高等学校事務局訪問

## 12. 主催イベント

(1)ゴスペルチャリティーコンサート（再掲）

JLMM ゴスペルクワイアによるチャリティーコンサートを開催した。カンボジアでの活動を紹介し、来場者から寄付を募った。

2018年6月30日　　フランシスカン・チャペルセンター　　出演：JLMM ゴスペルクワイア

(2)カンボジア DAY

カンボジアスタディツアーの参加者やカンボジアに興味のある方、JLMM の活動支援者などを対象としたカンボジア DAY を2年ぶりに開催した。当日は台風到来と重なってしまい、閉会時間を早めて開催した。

台風にも関わらず多くの参加者があり、スタディツアー参加者は体験を再び振り返ることができ、ツアーの学びをさらに深める時となった。

2018年9月30日　　フラシスコ会聖ヨゼフ修道院　　40名参加

## 13. バザー・イベント等への参加・企画協力

今年度は、長年出展を計画するも断念してきた日本最大のカンボジアイベントである「カンボジアフェスティバル」に出展した。旅行会社ピースインツアーとのタイアップにより実現した。これにより多くの方に JLMM の活動やカンボジアのハンディクラフトを紹介することができた。

2018年5月3日～5日　　カンボジアフェスティバル2018（東京・代々木公園イベント広場）

その他のイベント

| | |
|---|---|
| 2018年　7月　1日 | 東京教区カトリック田園調布教会サマーセール |
| 2018年10月21日 | 大阪教区「国際協力の日」 ブース出展 |
| 2018年10月28日 | 東京教区三軒茶屋教会　バザー出展 |
| 2018年　9月15日 | 文京ゴスペル倶楽部（本郷ルーテル教会）ブース出展 |
| 2018年11月24日 | All For One コンサート |

## 14. ファンドレイジング

**海外邦人宣教者活動援助後援会（JOMAS）委員会**

JOMAS にカンボジアステンミエンチャイ地区での活動（託児所人件費と給食費）に支援要請を行った。結果、2018年4月から3年間の助成が決定した。

2018年9月22日　　カンボジア活動プレゼンテーション

## 15. OB・OG 会

今年度は JLMM の OB・OG の自主企画により OB・OG 会が開催された。
複数名の OB・OG が参加するほか、研修担当者も参加し帰国後の実りを分かち合った。
また、団体名称について参加者から意見を募った。

2018年6月10日　　ニコラバレハウス（東京・四ッ谷）

団体名称について説明する事務局長

## 16. スタディツアー

一般公募及び諸団体・学校からの依頼に応じ、スタディツアーの企画を行った。また今年度は旅行会社である株式会社ピースインツアーと提携することで、実施や手配、安全面に配慮した。

**上智福岡高等学校　スタディツアー**

2018年7月21日～7月29日　　高校2年生12名と教職員2名が参加

行程:プノンペン→コンポンルアン→シェムリアップ

**JLMM夏のカンボジアスタディツアー （一般公募）**

2018年8月7日～8月14日　　参加者14名

行程:プノンペン→コンポンルアン→シェムリアップ

大阪教区青年カンボジアスタディツアー

2018年8月20日～8月25日　　参加者20名

行程:プノンペン→コンポンルアン→シェムリアップ

**専修大学国際協力サークル SIA　カンボジアスタディツアー**

2019年2月26日～3月5日　　参加者7名

行程:プノンペン→コンポンルアン→シェムリアップ

打ち合わせ:2018年11月9日

事前学習会:2019年1月30日

**JLMM春のカンボジアスタディツアー （一般公募）**

2018年3月26日～4月2日　　参加者10名

行程:プノンペン→コンポンルアン→シェムリアップ

大阪教区青年カンボジアスタディツアー

SIA カンボジアスタディツアー

## 17. スタッフ研修

スタッフの能力開発などを目途に研修を受講した。

2019年1月17日 DEAR 開発教育入門講座　　漆原比呂志、辻明美

## 18. 会議

(1)総会

| 開催回 | 開催日 | 会場 | 議　　題 |
|---|---|---|---|
| 定時 | 2018年<br>6月4日 | フランシスコ会<br>聖ヨゼフ修道院<br>2階会議室 | ・2017年度事業報告(案)及び収支決算(案)について |

(2)理事会

| 開催回 | 開催日 | 会場 | 議　　題 |
|---|---|---|---|
| 第1回 | 2018年<br>6月4日 | フランシスコ会<br>聖ヨゼフ修道院<br>2階会議室 | ・各国・国内活動状況について<br>・2017年度第4回理事会議事録確認と署名<br>・総会付議事項について<br>　2017年度事業報告(案)及び収支決算(案)について<br>・2018年事業計画(案)並びに収支予算(案)について<br>・団体名称について |
| 第2回 | 2018年<br>9月18日 | フランシスコ会<br>聖ヨゼフ修道院<br>2階会議室 | ・各国・国内活動状況について<br>・団体名称検討について進捗報告<br>・2018年度第1回理事会議事録確認と署名<br>・団体名称について<br>・2018年度派遣について<br>・2019年度派遣候補者募集について |
| 第3回 | 2018年<br>12月10日 | フランシスコ会<br>聖ヨゼフ修道院<br>2階会議室 | ・各国・国内活動状況について<br>・来年度派遣候補者研修について<br>・2018年度第2回理事会議事録の確認と署名<br>・団体名称について<br>・顧問司教の推薦依頼について<br>・役員任期満了による選任について |
| 第4回 | 2019年<br>3月8日 | フランシスコ会<br>聖ヨゼフ修道院<br>2階会議室 | ・各国・国内活動状況について<br>・団体名称について<br>・2018年度第3回理事会議事録の確認と署名<br>・2019年度の予定について<br>・総会について<br>・事業報告について |

## 19. 正会員・理事・顧問司教

正会員は次のとおりである。当会の正会員は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定されている社員である。

| | 氏　名 | 備　考 |
|---|---|---|
| 1 | 緒方　真理子 | |
| 2 | 岸野　眞理子 | |
| 3 | 眞鍋　まり | |
| 4 | 大垣　俊朗 | |
| 5 | 漆原　比呂志 | |
| 6 | 辻　明美 | |
| 7 | 金山　重之 | |
| 8 | 小林　誠 | |
| 9 | 渡邉　怜子 | |
| 10 | 松村　繁彦 | |

役員構成は次のとおりである。

理事の任期は2017年5月29日から2018年度最終総会まで、監事の任期は2015年5月29日から2018年度最終総会までとなる。

顧問司教は諏訪榮治郎高松教区司教である。

| | 役　職 | 氏　名 | 所　属　等 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 代表理事 | 小林　誠 | 法務省多摩少年院(医師) | |
| 2 | 理事 | 浜崎　眞実 | カトリック横須賀三笠教会主任司祭 | 指導司祭 |
| 3 | 理事 | 松村　繁彦 | カトリック大阪大司教区事務局長 | |
| 4 | 理事 | 高橋　睦子 | 幼きイエス会 | 研修担当者 |
| 5 | 理事 | 瀬戸　高志 | レデンプトール修道会日本準管区長 | |
| 6 | 理事 | 渡邉　怜子 | 日本カトリック信徒宣教者会・OG | |
| 7 | 理事 | 漆原　比呂志 | JLMM 事務局 / OB | 事務局長 |
| 1 | 監事 | 徳　修 | 税理士/心のともしび責任役員 | |
| 2 | 監事 | 品田　典子 | 日本カトリック学校連合会 | |

品田監事による活動の監査を実施した。

2019年5月29日

徳監事による会計監査を実施した。

2019年5月26日

新顧問司教との面談
2019年3月12日　　事務局

## 20. 加盟団体等

2019年3月31日現在、当会が所属する団体等は次のとおりである。

日本カトリック司教協議会　公認団体　（2002年5月9日加盟）

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター（JANIC）正会員　（2009年10月23日承認）

# 貸　借　対　照　表

一般社団法人 日本カトリック信徒宣教者会

2019年3月31日現在

（単位：円）

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| １流動資産 | | | |
| 預金 | 3,827,550 | 7,773,320 | △ 3,945,770 |
| 前払費用 | 1,323 | 1,765 | △ 442 |
| 流動資産合計 | 3,828,873 | 7,775,085 | △ 3,946,212 |
| ２固定資産 | | | |
| 什器備品 | 110,330 | 168,040 | △ 57,710 |
| 電話加入権 | 74,984 | 74,984 | 0 |
| 固定資産合計 | 185,314 | 243,024 | △ 57,710 |
| 資産合計 | 4,014,187 | 8,018,109 | △ 4,003,922 |
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| １　流動負債 | | | |
| 未払金 | | 0 | 0 |
| 預り金 | 250,068 | 286,170 | △ 36,102 |
| 流動負債合計 | 250,068 | 286,170 | △ 36,102 |
| 負債合計 | 250,068 | 286,170 | △ 36,102 |
| Ⅲ　正味財産の部 | | | |
| 正味財産合計 | 3,764,119 | 7,731,939 | △ 3,967,820 |
| 負債及び正味財産合計 | 4,014,187 | 8,018,109 | △ 4,003,922 |

# 正味財産増減計算書

一般社団法人　　日本カトリック信徒宣教者会

2018年4月1日から2019年3月31日まで

（単位：円）

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| １経常増減の部 | | | |
| (1)経常収益 | | | |
| 受取会費 | 1,415,000 | 1,577,000 | △ 162,000 |
| 受取寄付金 | 17,056,763 | 15,205,395 | 1,851,368 |
| 受取助成金等 | 0 | 9,872,000 | △ 9,872,000 |
| 受取利息 | 191 | 265 | △ 74 |
| 経常収益計 | 18,471,954 | 26,654,660 | △ 8,182,706 |
| (2)経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 研修費 | 2,461,389 | 2,370,632 | 90,757 |
| 派遣活動費 | 7,391,998 | 9,470,313 | △ 2,078,315 |
| 調査研究費 | 4,398,835 | 4,473,614 | △ 74,779 |
| 広報活動費 | 1,617,178 | 2,440,372 | △ 823,194 |
| 行事費 | 211,386 | 312,391 | △ 101,005 |
| 事業費計 | 16,080,786 | 19,067,322 | △ 2,986,536 |
| 管理費 | | | |
| 人件費 | 4,867,296 | 4,860,507 | 6,789 |
| 事務管理費 | 1,433,982 | 1,473,900 | △ 39,918 |
| 減価償却費 | 57,710 | 58,031 | |
| 管理費計 | 6,358,988 | 6,392,438 | △ 33,129 |
| 経常費用計 | 22,439,774 | 25,459,760 | △ 3,019,986 |
| 当期経常増減額 | △ 3,967,820 | 1,194,900 | △ 5,162,720 |
| ２　経常外増減の部 | | | |
| (1)経常外収益 | | | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2)経常外費用 | | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期正味財産増減額 | △ 3,967,820 | 1,194,900 | |
| 正味財産期首残高 | 7,731,939 | 6,537,039 | |
| 正味財産期末残高 | 3,764,119 | 7,731,939 | |

# 計算書類に対する注記

１重要な会計方針

（１）固定資産の減価償却について
有形固定資産の減価償却は定額法を採用している。

（２）資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、前払金・前受金、立替金・預り金及び前払費用を含めることにしている。なお、当期末残高は２に記載のとおりである。

２次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

| 科　目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|---|---|---|
| 預　金 | 7,773,320 | 3,827,550 |
| 前払費用 | 1,765 | 1,323 |
| 合計 | 7,775,085 | 3,828,873 |
| 未払金 | 0 | 0 |
| 預り金 | 286,170 | 250,068 |
| 合計 | 286,170 | 250,068 |
| 次期繰越収支差額 | 7,488,915 | 3,578,805 |

３有形固定資産の取得価額、当期償却額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科目 | 取得価格 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|
| 什器備品 | 347,502 | 237,172 | 110,330 |
| 合計 | 347,502 | 237,172 | 110,330 |

# 財　　産　　目　　録

2019年3月31日現在

一般社団法人日本カトリック信徒宣教者会

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---|---|---|---|
| （流動資産） | | | |
| 預　金 | 普通預金 | | |
| | 三菱東京ＵＦＪ銀行六本木支店 | 運転資金として | 599,073 |
| | 三菱東京ＵＦＪ銀行六本木支店 | 寄付金等受け入れとして | 490,632 |
| | 郵便振替 | 寄付金等受け入れとして | 926,982 |
| | 定期預金 | | |
| | 三菱東京ＵＦＪ銀行六本木支店 | | 1,810,863 |
| 前払費用 | | 労働保険料 | 1,323 |
| 流動資産合計 | | | 3,828,873 |
| （固定資産） | | | |
| 什器備品 | パソコン２台 | 事務局にて使用 | 110,330 |
| 電話加入権 | 事務局FAX 03-5414-0991 | | 74,984 |
| 固定資産合計 | | | 185,314 |
| 資産合計 | | | 4,014,187 |
| （流動負債） | | | |
| 預り金 | 社会保険料 | | 250,068 |
| 流動負債合計 | | | 250,068 |
| 負債合計 | | | 250,068 |
| 正味財産 | | | 3,764,119 |

# 収支計算書

一般社団法人 日本カトリック信徒宣教者会

自2018年4月1日　至2019年3月31日

収入の部　　(単位:円)

| 科目名 | | | | 18年度予算A | 18年度決算B | 増減額B-A | 増減率B/A | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 収入の部 | | | 受取会費 | 1,500,000 | 1,415,000 | △ 85,000 | 94.3% | |
| | | | 受取寄付金 | 19,000,000 | 17,056,763 | △ 1,943,237 | 89.8% | |
| | | | 受取助成金等 | 0 | 0 | 0 | #DIV/0! | 芝の会,味の素 |
| | | | 受取利息 | 1,000 | 191 | △ 809 | 19.1% | |
| | | | 雑収入 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | 0.0% | |
| | 当年度収入合計(A) | | | 20,511,000 | 18,471,954 | △ 2,039,046 | 90.1% | |
| 収入合計 (B) | | | | 20,511,000 | 18,471,954 | △ 2,039,046 | 90.1% | |

支出の部

| 科目名 | | | | 18年度予算A | 18年度決算B | 増減額B-A | 増減率B/A | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支出の部 | 運営費 | 人件費 | 1. 人件費 (D) | 5,126,000 | 4,867,296 | △ 258,704 | 95.0% | |
| | | | 給料手当 | 4,150,000 | 3,850,000 | △ 300,000 | 92.8% | 1名分 |
| | | | 通勤手当 | 302,000 | 301,280 | △ 720 | 99.8% | |
| | | | 退職金 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | | 法定福利費 | 667,000 | 705,491 | 38,491 | 105.8% | |
| | | | 福利厚生費 | 7,000 | 10,525 | 3,525 | 150.4% | 健康診断 |
| | | 事務管理費 | 2. 事務運営費 (E) | 1,573,000 | 1,491,692 | △ 81,308 | 94.8% | |
| | | | 会議会場費 | 1,000 | 0 | △ 1,000 | 0.0% | |
| | | | 会議食事代 | 5,000 | 1,519 | △ 3,481 | 30.4% | |
| | | | 会議旅費交通費 | 20,000 | 0 | △ 20,000 | 0.0% | |
| | | | 電話料 | 170,000 | 151,623 | △ 18,377 | 89.2% | |
| | | | 郵便切手送料 | 50,000 | 31,486 | △ 18,514 | 63.0% | |
| | | | 印刷コピー代 | 45,000 | 60,246 | 15,246 | 133.9% | |
| | | | 備品費 | 0 | | 0 | | |
| | | | 旅費交通費 | 30,000 | 30,350 | 350 | 101.2% | |
| | | | 消耗品費 | 45,000 | 29,848 | △ 15,152 | 66.3% | |
| | | | リース料 | 852,000 | 850,512 | △ 1,488 | 99.8% | |
| | | | 支払手数料 | 90,000 | 68,928 | △ 21,072 | 76.6% | 振替手数料他 |
| | | | 諸会費 | 45,000 | 44,050 | △ 950 | 97.9% | 司教協議会公認団体,JANIC |
| | | | 水道光熱費 | 75,000 | 79,220 | 4,220 | 105.6% | |
| | | | 租税公課 | 70,000 | 70,000 | 0 | 100.0% | 法人都民税他 |
| | | | 減価償却費 | 45,000 | 57,710 | 12,710 | 128.2% | |
| | | | 慶弔費 | 20,000 | 16,200 | △ 3,800 | 81.0% | |
| | | | 雑費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | 0.0% | |
| | 運営費支出合計 (F)=(D)+(E) | | | 6,699,000 | 6,358,988 | △ 340,012 | 94.9% | |
| | 活動費 | | 研修費 | 2,046,000 | 2,461,389 | 415,389 | 120.3% | |
| | | | 派遣活動費 | 7,730,000 | 7,391,998 | △ 338,002 | 95.6% | 職員1名分含む |
| | | | 調査研究費 | 5,002,000 | 4,398,835 | △ 603,165 | 87.9% | 職員1名分含む |
| | | | 広報活動費 | 2,640,000 | 1,617,178 | △ 1,022,822 | 61.3% | |
| | | | 行事費 | 216,000 | 211,386 | △ 4,614 | 97.9% | 報告会等 |
| | 活動費支出合計 (G) | | | 17,634,000 | 16,080,786 | △ 1,553,214 | 91.2% | |
| 経常費用計 (H)=(F)+(G) | | | | 24,333,000 | 22,439,774 | △ 1,893,226 | 92.2% | |
| | | | その他の繰入金支出 | 0 | | 0 | | |
| | 財務支出合計 (I) | | | 0 | 0 | 0 | | |
| | 当年度支出合計 (J)=(H)+(I) | | | 24,333,000 | 22,439,774 | △ 1,893,226 | 92.2% | |
| | 当期収支差額 (K)=(A)-(J) | | | △ 3,822,000 | △ 3,967,820 | △ 145,820 | 103.8% | |
| | 前年度繰越金 (L) | | | 4,914,000 | 7,546,625 | | | |
| | 次期繰越収支差額 (M)=(K)+(L) | | | 1,092,000 | 3,578,805 | △ 145,820 | 327.7% | |

# 監査意見書

一般社団法人日本カトリック信徒宣教者会定款第２７条の規定に基づき、２０１８年度における理事の職務執行状況、事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の通常理事会議事録、活動報告書及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

２０１９年　５月２６日

一般社団法人日本カトリック信徒宣教者会

監　事　（財務）　後藤　修

２０１８年　５月２９日

一般社団法人日本カトリック信徒宣教者会

監　事　（事業）　品田典子